

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	常陸大宮市		地域再生計画名	常陸大宮市豊かな自然と調和した地域再生計画						
計画期間	平成17年度～平成21年度		交付金交付期間	平成17年度～平成21年度									
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業			公共下水道事業(栄町地区、南町地区、中富町地区、抽ヶ台地区、上町地区)、農業集落排水施設岩瀬地区浄化槽(個人設置型、市町村設置型)									
2)地域再生計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	数値		総合所見						
	指標1	汚水処理人口普及率を50%→65%に向上	%	50	基準年度	平成21年度	事後評価	汚水処理施設整備交付金の活用により、公共下水道事業、農業集落排水施設事業、浄化槽設置事業の整備を概ね進めることができたが、過疎地域の高齢者世帯を中心とした世帯において浄化槽設置数が伸びなかったため、汚水処理人口普及率が目標値に達しなかった。					
	指標2		%										
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	計画値		実績値		総合所見					
	その他の数値指標1	下水道整備延長	m	8,200	平成17年度	9,166	○	公共下水道区域の管渠整備については、計画どおりに整備を行なうことができた。					
	その他の数値指標2	農業集落排水施設	m	9,310	平成18年度	9,470	○	農業集落排水施設については、計画どおりに整備が進み、平成21年7月に供用を開始することができた。					
	その他の数値指標3	個人設置型浄化槽	基	300	平成19年度	201	△	公共下水道区域及び農業集落排水施設区域外の世帯を対象に浄化槽の設置を進めたが、高齢者世帯を中心に設置要望が少なく、目標を達成できなかった。					
	その他の数値指標4	市町村設置型浄化槽	基	120	平成19年度	54	△	民家の点在する過疎部の世帯を対象に事業を推進したが、高齢者世帯や独居世帯が多く設置に関する不安等もあり、設置基数が伸びず目標を達成できなかった。					
4)実施過程の評価	年度	整備延長		整備面積		浄化槽設置基数		汚水処理人口		汚水処理人口普及率		実施状況の検証	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績		
	平成17年度	1,650	2,154	10	11	—	—	25,143	25,143	52	52		管渠の整備延長が計画を上回り、汚水処理人口普及率も計画どおり達成することができた。
	平成18年度	6,460	5,879	9	8	—	—	26,138	26,138	54	54		管渠の整備延長は計画を下回ったものの、汚水処理人口普及率は計画どおり達成することができた。
	平成19年度	4,430	5,475	11	11	140	96	27,692	26,183	56	55		浄化槽設置基数は計画を下回ったものの、管渠の整備延長は計画を上回り、汚水処理人口普及率についてはほぼ計画どおり達成することができた。
	平成20年度	3,210	4,569	8	11	140	82	29,247	26,076	61	55		管渠の整備延長は計画を上回る整備を行なうことができたが、浄化槽設置基数が計画を上回る整備ができなかったため、汚水処理人口普及率も計画を上回るできなかった。
平成21年度	1,760	553	8	2	140	77	30,802	28,500	65	61	浄化槽設置基数が伸びなかったため、汚水処理人口普及率は計画に達する整備ができなかった。		
総合評価と今後の方策	<p>・地域再生計画の目標達成という意味においては、高齢化や独居世帯の増加等により浄化槽設置戸数が伸びなかったため、汚水処理人口普及率が目標値に4ポイント及ばず反省点を残したものの、着実に浄化槽設置基数は増加している。今後は汚水処理事業についてのPRを積極的に行い、特に高齢者世帯、独居世帯の方の理解を深めることで、汚水処理人口普及率の向上を図って行く。</p> <p>・公共下水道事業は計画どおりの管渠整備を実施することができた。今後も引き続き計画的な整備を計り、接続率の向上に努めながら下水道整備区域の生活環境を整えることを目標に事業を進める。</p> <p>・農業集落排水事業は平成21年度中に事業を完了し、供用となったので計画どおりに事業を進めることができた。今後は区域内の接続率の向上を図り、生活環境の向上に努める。</p>												